

ぬまづ憲法9条の会

144号

事務局
神田健夫
921-7755

9条改憲は戦争への道 戦争は人を殺し殺されること あなたは認められますか？

―自衛隊を書き込むだけではありません

希望の党合流⇒民進党解党に助けられ、モリ・カケ隠し・“国難”解散を乗り切り、安倍自民党は衆参両院で、3分の2を維持しました。

安倍自民党は、今こそ「改憲実現の時」とし、3月の自民党大会で、改憲の自民党案を決めようとしています。

風雲急を告げています。

自衛隊を9条に書き込むだけと、簡単に言っています。けれど、安保法制により今では単なる災害救助、専守防衛の自衛隊ではありません。戦争する自衛隊に変わっているのです。

戦争とは、人を殺し、人に殺されることです。9条改憲で戦争する国にしてはなりません。
9条改憲で、暮らしをさらに脅かし、自由を抑える社会にしてはなりません。今こそ、踏ん張り時です。それぞれに可能な方法で行動しようではありませんか。
ぬまづ憲法9条の会は毎月1回、事務局会議をもち運営について話し合っています。
皆さんのお知恵・アイデア拝借します。あなたも出席してみませんか？
ぬまづの会事務局会議
・2月14日・水
19時〜20時30分
・サンウエル沼津3階

ミーティング・ルーム ***** ぬまづ9条の会 久方ぶりに署名・宣伝に

全国レベルの九条の会も加わる、全国市民アクションは、今、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」を3000万人の方々に賛同をいただこうと取り組んでいます。
ぬまづの会も、ささやかながらその一翼を担って、久方ぶりに駅頭署名行動と宣伝に取り組みます。
一人でも多くの方が参加してください。
日時：2月24日(土)
13時〜30分
沼津駅南口

ロータリー・井上靖碑前

静岡県の会
憲法9条 変えると
どうなる？」の集い

静岡県9条の会はこの間開店休業状態でした。安倍改憲の動きが急進展する中、

県弁護士会などの努力で再建されました。早速2月には、県9条の会が主催し、県弁護士会の後援も得て、「憲法9条、変えるとどうなる？」をメインテーマに下記のとおり集いをもつことになりました。
あなたもぜひご出席を。
日時：2月25日・日曜
13時〜

会場：静岡市民文化ホール
お話・伊藤真弁護士
高校生による朗読劇 無料

5月3日新聞意見広告

東部地域から始まり、ここ数年は中部・西部も参加し、県全域の9条の会が共同して、新聞意見広告に取り組んできました。今年も取り組もうと、準備・検討が始まりました。

掲載(5月3日予定)
朝日新聞
全面(15段)
賛同者氏名掲載
賛同費用 500円
細目を含め2月下旬にお

知らせできます。

改憲を断念させよう

集会・パレード
2月18日(日)
集会は、13時30分〜
パレード14時00分〜
会場 沼津中央公園
主催 戦争させない憲法こわすな
沼津の会



改憲を断念させよう
スタンディング宣伝署名
日時 2月 3日(土)
日時 2月10日(土)
13時30分〜14時15分
会場 沼津駅南口 井上靖碑前
主催 戦争させない憲法こわすな
沼津の会

世論と安倍改憲の隔絶 だから世論の操作

NHK世論調査を見てみよう。（「放送研究と調査」2017年10月）

今の政治の優先課題は、1位社会保障・福祉62%、2位景気・雇用55%、憲法改正は最低の6位6%だ。ところが、安倍首相は、憲法改正論議は政治家の「義務だ」とうそぶく。

憲法の平和主義、自由・権利、民主的な政治の3項目いづれも肯定的に評価する人が増えている。ところが、安倍首相は歴代首相でただ一人、「みっともない憲法」と罵る。

「憲法改正は必要」と考える人が減り、「不要」と考える人との差が縮まった。憲法9条も「役にたっている」と考える人が、80%を超え、評価は高まっている。9条の改正は「不要」が57%で、「必要」25%を大きく上回り、これま

でと比べても「不要」が増えている。

ところが、安倍首相は「改憲は私の歴史的使命」とすごむのである。

世論と安倍首相の考えとの隔たりは大きく深い。だから、安倍首相は、テレビ・新聞の幹部と会食を重ね、読売、産経などと懇ろに付き合い、世論を操作する。その好例、安倍首相は9条改憲案を昨年5月読売新聞で発表した。

操作される世論に対し、草の根の世論を、地道に広げ、深める必要があるのだ。

（ここで触れた内容は、紙面の都合で簡略に伝えている。「憲法をめぐる意識の変化といま」に詳しい。インターネットでも閲覧できる）



『何人死んだんだ』

沖縄の小学校、保育園への、戦闘ヘリコプター窓枠や部品の落下、そして石垣島など離島を含む沖縄全域でのヘリコプターの墜落、不時着が相次ぐ。

その代表質問の最中、「何人死んだんだ」と野次が飛んだ。児童、幼児の、住民の、生命への想像力は、一かけらもない。

当の小学校、保育園には「隣に立地するのがケシカラン」と抗議電話が相次いだという。

安倍自民党の、その右翼シンパの道義は腐れきっている。

その野次を飛ばした内閣府副大臣を慌てて更迭した。名護市長選対策である。

生命を脅かし、大浦湾の自然を壊し尽くす辺野古新基地建設。絶対阻止したい。そのためにも名護市長選、稲嶺進さんの勝利を願い、祈るや、切。

成人式 晴れ着を巡り

1月7日の成人式、ぬまづの会、香陵、大平、原の地域の9条の会で新成人にリーフレット配布。

ところで、東京の晴れ着業者の雲隠れで、高価な晴れ着、詐欺商法、成人式のあり方に注目が集まった。

沼津のある業者の「低価格実現」をうたうチラシによると、振袖は購入38万円、レンタル20万円とのこと。

東京新聞「本音のコラム」欄で看護師宮子あずさんが「晴れ着と格差」「見えない貧困」と題して問題を投げかけた。

「『晴れ着が着られなくなったなら成人式に出られない！』と当たり前のように語られている現状に、とても胸が痛む。今回の事件を機に、晴れ着中心の成人式こそ、見直されて欲しい」
「今回実感したのは、晴れ着を着られる人には、着られない人の存在が見えにく

い、格差によって分断された社会。これを乗り越えるには、まず、見えない自分を自覚しなければならぬ。そして、見えないものに思いを巡らす想像力を鍛えたい」

この提起を受けとめ、考えたいと思う。

改憲を断念させよう 1月14日集会是

沼津・中央公園での集会では、事務局からの挨拶は、過去の歴史に正しく向き合うことを指摘し、運動を広げていきたいと思います。続いて、角田由紀子弁護士が安保法制違憲訴訟の動きを報告。

幟を持って国労OB5人と最近国労に加入した青年が駆けつけ、青年は「若者も頑張っている」との発言に大きな拍手。

その後、大手町交差点で、四力所でプラカードを掲げスタンディングで市民に訴えた。